

## 資料紹介・大妻女子大学図書館蔵 古活字平仮名三巻本『宝物集』

Introduction to "HOUBUTSUSHU"

- A collection of Buddhist tales held in Otsuma Women's University library

小井土 守敏<sup>1</sup><sup>1</sup>大妻女子大学文学部日本文学科Moritoshi Koido<sup>1</sup><sup>1</sup>The Department of Japanese Literature, Faculty of Language and Literature, Otsuma Women's University

12 Sanban-cho, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan 102-8357

キーワード：宝物集，仏教説話，古活字

Key words : "HOUBUTSUSHU", Collection of Buddhist tales, The old movable-type printing

## 抄録

大妻女子大学図書館が所蔵する古活字三巻本『宝物集』の書誌情報を紹介する。

## はじめに

『宝物集』は、平安時代末期、治承年間（1177～1181）成立の仏教説話集である。作者は、『平家物語』に描かれる“鹿ヶ谷の謀議”の首謀者のひとり、平康頼とされる。その謀議に与したことにより刑に処せられ、“鬼界が島”へ流罪された後、赦されて京都東山の双林寺付近に住まいして、この『宝物集』を著したと『平家物語』に見える。

その内容は、嵯峨清涼寺の釈迦堂で僧俗が対話する形式をとり、多くの説話を例証に引きつつ、仏法こそが至高の宝物であると語るものである。

『保元物語』『平家物語』『曾我物語』等の軍記物語のほか、『発心集』『三国伝記』『塵添壺囊抄』等の説話文学作品に多くの影響を与えていることが知られており、中世文学を考えていくうえでは、重要な作品である。

本学図書館では、その『宝物集』の寛永16年（1639）刊の古活字版を所蔵している。本書は、上中下からなる三巻本系の本文であり、古活字版としては、寛永中刊の第二種本に分類される。川瀬一馬氏『古活字版の研究』<sup>[1]</sup>によれば、同版は、安田文庫の上巻1冊、旧帝国図書館蔵の上下（中欠）2冊の零本しか確認されていないが、本学所蔵の該本は全冊揃いの完本であり、稀覯書であるといえる。そもそも戸時代初期、元和・寛永期の古活字版印刷は、そのものが貴重であり、その版行に携わった工房をはじめとして、現在もなお究明されていない点が多く、資料的価値が高い。

稿者は、平成26年度大妻女子大学戦略的個人研究費の助成を得て、「近世初期における中世散文文学と出版文化の関わり」を研究テーマに、この古活字版『宝物集』の翻刻・調査にあたった。本学所蔵の平仮名古活字三巻本の特性を明らかにするべく、全文を翻刻した上で、同じく三巻本の片仮名本との本文対照を行い、その相違を明らかにすることを試みた。その成果は、『三巻本宝物集 平仮名本 片仮名本 対照本文』<sup>[2]</sup>として、Otsuma eBook より公刊しているので参照されたい。

小稿は、本学図書館蔵平仮名古活字三巻本『宝物集』の書誌情報を、資料として報告するものである。

## 書誌

○書名 『宝物集』

○著者 平康頼

○巻冊数 3巻3冊（完本）

○整理番号 913.47/Ta23-5/1~3

○刊年 寛永16年刊，古活字版。

○外題

上巻 題簽は後年貼り込み。無地。文字なし。

中・下巻 「ほうぶつしう 中（下）」書き題簽。

※ 題簽 縦12.5cm×横2.0cm。無地。

○内題 「ほうぶつしう 上（中・下）」

○柱 「ほ 上（中・下） 一（丁数）」無界。

○尾題 「ほうぶつしう 上（中・下）終」

○表紙 原装，青鈍色雷文繫地唐草型押。

- 装丁 袋綴じ(四つ目)
- 見返し 原装, 本文共紙.
- 料紙 楮紙
- 表紙寸法 縦 27.5cm×横 17.7cm
- 匡郭 無辺無界
- 字高 21.3cm
- 一行文字数 20~22 字
- 一面行数 12 行
- 丁数 全 71 丁  
上巻 35 丁 中巻 30 丁 下巻 36 丁  
貼り紙等ナシ

- 絵 なし
- 書入 あり(墨・朱とも)
- 用字 本文は漢字平仮名交じり.  
書入は漢字.
- 刊記 「寛永十六年三月吉辰」
- 蔵書印 なし
- 保存状況 良好, 補修あり.
- 帙 あり. 後装.
- その他
  - ・上中下巻共に, 版心が 2 乃至 3 種類認められることから, 植字盤は 2 乃至 3 種存在したと想定される.
  - ・上巻 5 ウ以降に, 朱の書き入れが認められる.

- そのほとんどは, 本文の平仮名に漢字を当てたもの. ただし, 中・下巻には見られない.
- ・下巻 36 才に, 人面とおぼしき戯書あり.
  - ・各冊, 見返し部に「山本政廣/弥右衛門」と墨書あり.
  - ・中巻の見返し部には, 朱墨で「石山秋月/宗氏康口郎」と書き入れあり.
  - ・下巻巻末, 刊記の左に, 「百三十二年ニ成 宝暦五年也」, 裏表紙見返しに, 「山本氏弥右衛門」と書き入れあり.

2014 年 6 月 25 日/2015 年 11 月 5 日調査

#### 付記

本研究は, 大妻女子大学戦略的個人研究費(S2616)の助成を受けたものです.

#### 引用文献

- [1] 川瀬一馬著. 『古活字版之研究』1967. 日本古書籍商協会.
- [2] 小井土守敏ほか編. 『三巻本宝物集 平仮名本片仮名本 対照本文』2015. 大妻女子大学人間生活文化研究所. Otsuma eBook (<http://www.ihcs.otsuma.ac.jp/ebook/book.php?id=51>)にて公開.

---

#### Abstract

An Introduction to the 3 volume "HOUBUTSUSHU" held in Otsuma Women's University Library.

---

(受付日: 2015 年 11 月 18 日, 受理日: 2015 年 11 月 27 日)

#### 小井土 守敏 (こいど もりとし)

現職: 大妻女子大学文学部日本文学科教授

筑波大学大学院文芸・言語研究科博士課程単位取得退学. 修士(教育学).

専門は日本中世文学, 説話文学. 現在は『曾我物語』等の軍記文学を軸に, 本文変化の実態について研究している.

主な著書: 『長門本 平家物語 一~四』(共編, 勉誠出版, 2004~2006) 『長門本平家物語自立語索引』(共編, 勉誠出版, 2009) 大妻文庫『曾我物語 上中下』(共編, 新典社, 2013~2015) 『三巻本宝物集 平仮名本 片仮名本 対照本文』(共編, 大妻女子大学人間生活文化研究所, 2015)